

予備自衛官のための最新情報

予備自通信

- 「平成27年度予備自衛官補教育訓練開始！」
- 「平成27年度予備自衛官中央訓練」
- 「予備自衛官等雇用企業の皆さまへ」



平成27年度予備自衛官補教育訓練開始！

8月20日から、北部方面混成団第120教育大隊（真駒内駐屯地）において平成27年度予備自衛官補教育訓練が開始されました。所定の教育訓練を終了した後は、予備自衛官として任用されます。



教育訓練の状況(27.9.17実施)
(技能 技2タイプ(射撃予習))



皆さん真剣に取り組んでいます！





平成27年度予備自衛官中央訓練

8月21日（金）から8月25日（火）までの間、東富士演習場及び市ヶ谷駐屯地等で行われた「平成27年度予備自衛官中央訓練」に、全国の予備自衛官の中から60名が招集され、札幌地本からは2名の予備自衛官が参加しました。

東富士演習場において富士総合火力演習研修、戦闘訓練及び米軍海兵隊研修が、市ヶ谷駐屯地において予備自衛官制度教育等が行われ、有意義かつ充実した5日間となり、予備自衛官としての識能の向上が図られました。



富士総合火力演習研修



富士総合火力演習研修



戦闘訓練



戦闘訓練



戦闘訓練



市ヶ谷記念館研修



予備自衛官等雇用企業の皆さまへ

総合評価落札方式における評価区分の加点評価について

平成27年7月1日以降の入札公告より、防衛省（地方防衛局）が発注する自衛隊施設の建設工事の「総合評価落札方式」において、工事の品質の確保又は品質の向上を図るため、駐屯地等の事情に精通した退職自衛官である予備自衛官等を一定の条件の下に現場配置する場合、「企業の信頼性・社会性」の評価区分において加点評価を行っています。

対象工事

自衛隊の駐屯地、分屯地、基地、分屯基地及び演習場内で行なわれる工事で、1件につき予定価格がWTO基準額(6億円)未満のもののうち、総合評価落札方式により入札を行なう工事。

条件

- ① 雇用している予備自衛官等が、当該工事の作業に直接従事する技術者・技能労働者であること。
- ② 駐屯地等の調整において雇用している予備自衛官等が、現場代理人を補佐しアドバイス等を行うこと。
- ③ 現場配置期間の延べ日数が30人・日以上あること。

予備自衛官等 証明書申請要領

左記の対象工事入札参加にあたり、左記の条件にあてはまる場合は、予備自衛官又は即応予備自衛官の証明書が必要となりますので、「予備自衛官等証明書」の申請をしてください。申請書は、陸上自衛隊HP「予備自衛官制度」からダウンロードしていただき、必要事項を記入して「自衛隊札幌地方協力本部予備自衛官課」へ返信用封筒及び切手を同封し送付して下さい。

※ 入札に関する件は、各地方防衛局にお問い合わせ下さい。

詳しくは、防衛省HP又は陸上自衛隊HP「予備自衛官制度」をご覧ください。